

4. 調査結果から分かること

では、調査票に記入してもらった結果から、一体何が分かるのかというと、「人の動き」を目的別・属性別に集計することにより、例えば、目的別、年齢階層別の各交通手段の利用割合や、鉄道、バス、自動車、徒歩・二輪車などの全ての交通手段を合計した、地域間の人の移動の総量などを知ることができます。

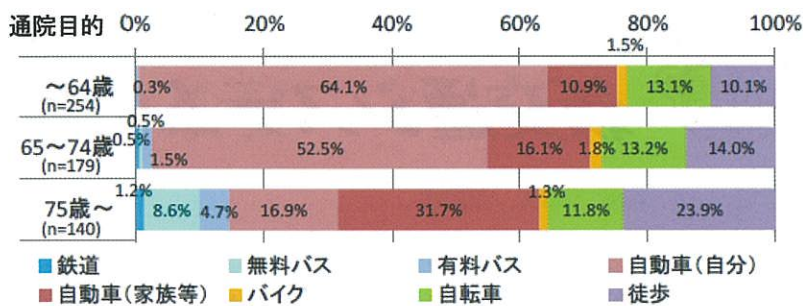


図 各交通手段の利用割合のイメージ

5. 調査結果を活用した今後の検討内容について

調査結果を活用して、今後どのような検討を行う予定なのかをご紹介します。

まず、調査結果から「人の動き」の特徴を解析し、その結果を将来の人口分布と重ね合わせることで、公共交通や生活に必要な施設について、10年先、20年先の利用状況を推計することが出来ます。

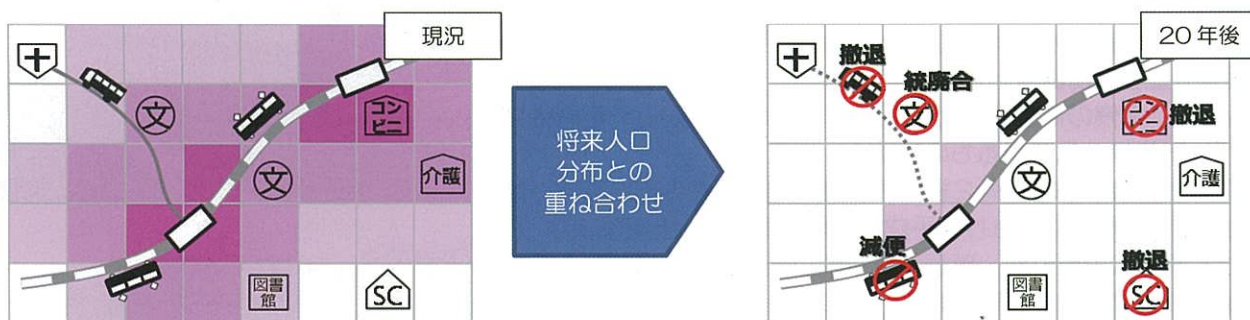


図 将来推計のイメージ

従来の「人口増加時代のまちづくり」がそのまま進行した場合、おそらく20年後には公共交通サービスレベルの低下や生活利便施設の撤退といった推計結果が出るのが予想されます。そのため、それらを未然に防ぐためには、どこにどのような対策を打つことが効果的なのか検証を行います。

例えば、調査結果から日中に人が集まる地域を把握することが出来るので、バス路線の変更によって利用者の増加を見込めないか検討するなどして、効果が見込まれる施策を取りまとめていく予定です。



図 バス路線検証のイメージ

6. おわりに

調査範囲にお住まいの方については、おおむね4世帯に1世帯が調査の対象となるため、この記事を読まれている皆様のお手元にも調査票が届くかもしれません。そのときは面倒と言わずに、ぜひとも調査へご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

一人ひとりの回答で未来のまちを共につくる。
あなたの1日の動きをお聞かせください。

Train

Bus

Bike

Car

Bicycle

Walk

ご協力よろしくおねがいたします

実施期間 平成27年11月

くんま
観光大使
AKB48 Team 8
清水 麻璃亜

©群馬県

